

◆ 市民アンケート「386の自由記述意見」

●機能の充実に関わるもの

<60代>

- ・予約の多い本は、貸出期間を短くして、多くの人が早く読めるようにして欲しい。2週間ではなく、1週間、5日くらいに短縮はどうか。
- ・沢山の本の中に良い本が埋もれてしまうので、良く借りられる本のベスト10とか、この本読むとなるべく借りやすいと思う。
- ・在庫書しか予約が出来ず不満。**予約が増えれば新蔵書として購入する仕組み**が必要。
- ・コロナ禍でも利用できるよう配慮されていると思います。いつまで続くか分からぬ中、ネット対応とかも必要ではないか。
- ・同じ作者の本が違う棚にあったりする。探しにくい。違う棚に分けずに同じ場所に収納して欲しい。
- ・中舞鶴分館でも、東西図書館と同様なサービスを受けられるようにして欲しい。**分館で、本の受け取り、返却ができるようにして欲しい。**
- ・年代別読みで良かった本のランキングして欲しい。
- ・図書館は、学生が休みに勉強しに行くところのイメージしかなかった。今は、ネットで情報が取れるので、図書館で得られる情報との差別化が無いと、図書館に足が向かないと思う。
- ・高齢になるにつれ、図書館まで行くことが困難になってきます。家にいることが多い高齢者にとって、読書は楽しみの一つです。電話やインターネットで予約し、隣の公民館等で受け取りや返却できるようなシステムがあると嬉しいです。
- ・読みたい書籍の希望を伝える手段が分からなかった。ホームページなどで伝える事が出来ますか？
- ・人気の新刊が出た時に所蔵数が少なく予約後にかなりの日数がかかるので、一定期間は貸出期間を短くするとかの対策を講じてほしい。小説、漫画単行本やそれに準じるようなジャンルの本も含め、トレンディな本、Amazonやネットで話題に上がつてような本はいち早く情報を察知して、舞鶴図書館には他の図書館に比べて1番にあるようなスピーディーでホオーッとみんなが感心し唸るような**オシャレな図書館**を希望します。アンケートを締め切った後はこのような意見、要望が寄せられたと言いうような纏め結果の開示を希望します。

<70代以上>

- ・府内の図書館などから希望する本を探していただき借りることが出来るのは有難い。
- ・ヤフージャパンインターネット検索を有料（100円／時間）で開設してください。高浜、福知山は無料で使用できる。
- ・あいえお順に作者ごとに書いて欲しい。返却の声掛けを申し少しつきりして欲しい。
- ・貸与期間を3週間に伸ばして欲しい。
- ・検索しても希望の本が探せない時がある。
- ・他の図書館、資料館との連携で力を入れて欲しい。沢山の図書館が自分の書斎のように使えたらしいと思う。
- ・読みたい本のある場所がわかりにくい。もっと細分化して探しやすいようにしてほしい。インターネットで家庭から本があるかのけんさくができるようにしてほしい。
- ・借りた本の履歴を確認したい。

●職員の対応に関わるもの

<10代>

- ・職員の対応が酷い。

<20代>

- ・いつも感謝しています。利用者に明るく対応してもらえると嬉しくなります。これからもよろしくお願ひします。

<30代>

- ・職員さんはいつも丁寧に接してくれてありがとうございます。限られた予算の中で色々な分野の本を揃えようとしてくれていると理解しています。ただ、**根本的に図書館にかける予算が少なすぎます**。図書館は、本を気軽に買えない多くの市民にとって、大切な場所です。市長による本で不自由したことのない方には理解できないかもしませんが…。京都北部内で融通し合うといふこともできるかもしれません、図書館で並んでいる本から選ぶという楽しさを味わうことは出来なくなります。**その体験の重要性**を、市長にはもっと理解してもらいたいです。また、子供の意見として、**小学生向けの漫画や本を揃えてほしい**といふのも出ています。漫画は難しいかもしれませんが、青い鳥文庫系の本も充実させてほしいです。（宮津は充実していて羨ましかった）**施設については、出来る限り東西にあり続けてほしいですが、もし市で一つになるということであれば、公民館などで本を受け取れるサービスを同時にてもらいたいです。**
- ・いつも読み聞かせを楽しんでいます。続けてください。その頃、車いす用トイレはなく、トイレの個室にベビーキープが付いていましたが、寝ている子を起こすのは可哀そだと言うと、トイレの前の暗い廊下に置いておけばよいと言われ、大変悲しい気分になりました。もしも、今、赤ちゃん連れのお母さんが同じお願いをされたらどう対応しますか。
- ・いつも子供に優しく対応くださりありがとうございます。
- ・いつも西図書館を利用しています。司書さんは静かで親切で無駄話もされず、好印象です。蔵書等は満足しておりますが、**トイレが古く暗い**。素材的に濡れると滑る時があるので、新しくしていただきたいです。
- ・いつも司書さんには丁寧に対応していただき感謝しています。

<40代>

- ・いつも気持ちよく利用させていただいている。ありがとうございます。
- ・いつも利用させていただいている。市内在住ではなく**通勤地が舞鶴市なのですが、星休みに利用できる**ので大変ありがたいです。書架の並べ方なども自分のフィーリングと合うのか、読みたいと思う本がすぐに見つかるので嬉しく思います。スタッフの方も穏やかで丁寧であり、対応にいつも感謝しています。これから多くの人が集う素敵な図書館を育んでください。
- ・感じのいい職員と感じの悪い職員の差が激しいように感じる。現状の不満を利用者にぶつけないで頂きたい。嫌なら辞めたらよい。良い感じの職員にはいつもお世話になっており、大変感謝しています。ありがとうございます。
- ・いつも職員の皆さんには図書の相談に対応いただいたり、リクエストに応じていただき、ありがとうございます。
- ・いつも西図書館を利用しています。職員の方、皆さん対応が良く気持ち良く利用できます。ありがとうございます。
- ・小学生の男の子2人を持つ親です。ゲームや動画ばかりで本に興味を持つてもらえない。一緒に図書館に行って、こんなのはどう？と声をかけてみますが「面白そうに思えない」と言って読みもせずに帰ってしまいます。**学校でも月一回読書をする取り組み**をしてもらっているようですが、**それも全く効果がない**ように思います。子供が本に興味を持つてくれるようなきっかけ作り（本の紹介の工夫、置き方の工夫など）をしてもらえたらありがたいなあと思います。それと、過去に一度、夏休みに読むために、小学生低学年の男子向けの本を教えてほしいとお願いしたときに、

丁寧に案内してくださった司書さんがいらっしゃって、子供も、その本には興味を持ってくれたことがあります、とてもありがとうございました。これからも、**丁寧なアドバイス**をしていただけると嬉しいです！**洋式のお手洗いを増やして**欲しいです。

- ・ほとんどの職員の愛想が悪い。とにかく感じが悪い。

<50代>

- ・職員の皆さんの対応も丁寧で非常に感じが良く、図書館に来るといつも穏やかな気持ちになります。
- ・いつも良くしてくれてありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。とても丁寧で満足です。情報の移り変わりが早いので、最新の本を入れて欲しい。
- ・本を借りたり返したりする時に、いつもにこやかに優しく対応していただき、ありがとうございます。
- ・いつもキライに環境を整えていただいており、感謝しております。職員の方々も親切でホッとしています。最近は孫が本を読むのでお借りしています。たくさんあり、私が孫が読んでいた本を孫が選ぶ姿を見て嬉しくもあります。ただ、**子ども向けの本の傷み**が気になります。丁寧に修復していただいているが、**人気の高い本は買い替え**。また、あまり貸し出しのものについては、検索して書庫からの貸し出しはできないでしょうか。児童書の本棚が、もう少し見やすくなるのではと、差し出がましいことを申し上げます。予算のこともあり、難しいとは存じますがご一考くださいませ。

<60代>

- ・職員は、申し少し笑顔で対応して欲しい。児童書は、あいえお順ではなく、年齢ごとに並べて欲しい。
- ・職員の方の暖かな対応に感謝しています。
- ・職員の対応が良い。
- ・本を借り受けたとき、「ありがとうございます。」と言って渡されることに違和感を感じる。「ありがとうございます。」とは、益を受けたとき、有難い行為を受けたときに発する言葉である。本の貸し借りはこれに当たるだろうか。「お疲れ様です」の方が寄り合っているのではないか。

<70代以上>

- ・古い本が多い。新しくしてほしい。職員さんが優しくて感謝しています。

●その他

<10代>

- ・今、学生の本離れが顕著に現れていてるので、若い人が本を読むようになるきっかけが図書館で作ることができればいいと思います。

<20代>

- ・**30分開館時間を早く、閉館時間を遅くしてほしい**。あまりにも破れた本、補修が多い本は次の購入時期に買い替えも検討してほしい。

<30代>

- ・**図書館を統合することは絶対反対**。市民にとって身近であることで純粋に本に親しむ以外に、知的財産を蓄え、この地で生きていくための人の育成につながっていると考えます。物理的に距離が出来ることで、お年寄りは本当に困ると思うし、子供たちの足も向かなくなると思います。本のある場所を通して人を育て、文化を育て、まちを育てると思うので、絶対に統合は止めてください。ますます舞鶴が廃れます。・今後も定期的に利用させて頂きうと思います。
- ・いつも子供用の本を借りていますが、季節のおすすめや上段に並べてあるのを良く借ります。選びやすいので良いです。
- ・各館の入り口付近の職員オリジナルの棚や図書館などより等、自分以外の人が選書したものを見るのが新鮮です。
- ・勉強がはかどる環境だと思います、小学生以来図書館を利用しました。**子供の声とかはしようがない**と思いましたが、意外とカウンター側から聞こえる大人の話し声がうるさく感じました。しようがないのかもしれませんとでも残念に感じました。
- ・東、西、またに中舞鶴も利用しています。**場所によって本の偏り**があるのが残念です。・絵本の福袋はとても楽しい組り組みでした。どんな本が入っているかも楽しみでした。赤ちゃんと絵本の広場をよく利用していました。自分の知らない本がたくさんあって、聞いている親が楽しめました！
- ・舞鶴の図書館は、福知山や宮津に比べて劣ります。**福知山、宮津と比べても遜色ない図書館にしてください**。文教政策にもっと予算を付けるべきです。**図書館の縮小や統合は、ニーズに逆行することです**。西地区の人間が東まで行くことはないですが(逆も然り)。西も東も図書館を拡充してください。
- ・頻繁に利用させていただいている。ありがとうございます。
- ・読み聞かせ、楽しみにしています。いつもありがとうございます。
- ・出産後は図書館をまた利用したいと思っています。今後図書館が、より良く変わっていくのかなと思うと楽しみです。

<40代>

- ・図書館に不燃ごみの集積所があるのは違和感がある。寄贈図書は3年以内のものとなっていても、古いものでも傷んだ蔵書と交換することもできるのではないか。**コミックは置かない方針のことだが、優れたものは取り入れても良いのではないか**。
- ・いつも気持ちよく利用出来て有難いです。昭和時代、公民館にあったころと比べると冊数も格段に増えました。ただ1点、当時は少しでも声を出せば、こっそり叱られたのですが、どのようなマナーが低下しているのが残念です。
- ・西と東にあるのが多いに助かります。今後もおおいに利用したい。
- ・開館時間が朝早い良いと思います。（学校の夏休み期間）・**市内の公民館と機能が共有されていると良い**と思います。（返却だけでも！！）・子供が乳幼児だった頃、子どもがぐずるため、とても利用しにくくて、情報に飢えていてとても辛かった。ネット上の情報には誤ったものも多いので、**図書館をとても利用したかった**。託児サービスがあつたらしいと思っていました。舞鶴市に一時預かりがあることを知ったのはずっと後でした。・今、図書館のイベントがとても楽しいので毎年楽しみにしています。・正月の福袋がとても楽しみです。（正月以外でもやって欲しいと思っています。・子供たちは、ハロウィンをとても楽しみにしています。これからもどうぞ続けていただきたいです。
- ・いつもありがとうございます。金曜日が遅くまで開館してて助かります。加えて、**水曜日も2週間に1回でいいので、遅くまで開館してくとあります**。仕事、子育てがある人も行きやすいのでは。所沢の図書館がそんなサービスをしていて助かりました。
- ・いつもありがとうございます。図書館があるからこそ幅広い知識を深く得ることができます。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・駐車場付近に不燃物の集積場があり、捨てるために来る車の駐停車の状況が悪いため、入ろうとしても入れないことがたまにあります。
- ・西図書館への意見です。10月のことです。入り口に設置されている手指消毒液が、腐っているのか、手がとても臭くなり不快でした。

1-2-⑧ 「必要課題」と「要求課題」を考える

□計画にあたって市民の声を聞くということ

舞鶴市では、図書館協議会の「意見書」をうけて、これをもとに市民意見をアンケートで聴取し確認しています。利用者や図書館に関心を持つ方々の意見要望は、大いに計画の参考になります。直接的に聞くことが出来る要望は「要求課題」と考えられます。しかし、市民の半数を超える未登録者や、いまここに居ない未来の市民の声が聴けてはいません。そこで、まだ見ぬ将来の社会ビジョンにつながる「必要課題」については、国や先進都市の図書館政策との比較研究や、舞鶴市の環境や暮らしに係るまちづくりの施策に照らして、図書館基本計画で考える「図書館再編」に必要な課題の整理を行っていきます。

□図書館と公民館、類縁機関 訪問面談聞き取り

■東図書館 2021年10月22日 竹之内館長 河田主任	■西図書館 2021年10月21日 西躰館長 岡山主任	■中分館 2021年10月21日 三浦氏	■南分館 2021年10月22日 前羽館長 澤野氏	■加佐分館 2021年11月10日 澤田館長 眞下司書	■大浦会館 2021年11月11日 澤田氏 河合司書
■郷土資料館 2021年11月11日 吉岡館長	■市議会図書室 2022年1月17日 松浦係長、藤原氏 ■総務課図書コーナー 2022年1月17日 多田課長	■まなびあむ 2021年10月22日 福田館長	■あそびあむ 2022年1月17日 野口副所長 根兵保育士	■松尾寺駅舎 ■salon de RURUTEI 2022年1月18日 片山代表 砂田さん	◇図書館協議会 意見書 (R 2) ◇図書館協議会 研究書(案) (R 3)

□学校図書館と小中学校教育研究会 訪問面談聞き取り

■岡田小学校 2021年10月21日 野田校長	■朝来小学校 2021年10月22日 吉谷先生 櫻井先生	■余内小学校 2021年10月21日 岡西先生	■三笠小学校 2021年11月10日 畠本先生 金岡先生	■白糸中学校 2021年10月22日 谷先生	■城北中学校 2021年11月12日 小谷先生
■小学校教育研究会 図書館教育部会 2021年11月10日 ■三笠小学校 畠本先生 金岡先生	■中学校教育研究会 図書館教育部会 2021年11月12日 ■城北中学校 小谷先生		■学校教育課 2021年11月12日 森下課長 岡本課長		□文科省の施策 (R4年度) ◇第6次学校図書館 図書整備等5カ年 計画 概要資料 (文科省HP)

□行政関係課グループヒアリング

面談聞き取り

※資料提供◇舞鶴市地域公共交通計画(R3)

■学校教育課 2021年11月12日 森下課長 岡本課長 ◇舞鶴市教育振興 大綱(H31)	■福祉企画課 2021年11月12日 松本課長 ■障害福祉課 2021年11月12日 島田課長	■観光振興課 2021年11月12日 山内課長 森下係長	■地域づくり支援課 2021年11月12日 飯田課長 佐藤係長 亀井氏	■都市計画課 2021年10月22日 坂田係長 柏分氏 ◇舞鶴市立地適正化 計画(H26)	■資産マネジメント 推進課 2021年11月12日 岩田課長 佐野係長 ◇舞鶴市公共施設 再生基本計画(H26)
--	--	---	--	--	---

□市民グループ、図書館類縁ボランティアグループ 面談聞き取り

■ふしぎの国 2022年1月18日 井上さん 石橋さん	■おはなし玉手箱 2022年1月18日 杉浦さん 須崎さん 美矢さん	■おはなしキャラバン たんぽぽ 2022年1月18日 根津会長、大田さん 北さん、後藤さん 米田さん	■読書会の皆さん 2022年1月18日 越後さん 杉本さん	■チームまなざし ■あい丹後 2022年1月18日 神田理事長 堤相談員 千原さん	□市民アンケート (令和元度) ◇1,322人市民回答 ◇386件自由記述意見 (舞鶴市公式HP)
--	--	---	--	--	---

※アンケートには登場しない声
利用していない人、したいと
感じない人、遠くに暮らす人、
移動手段が困難な人、入院や
入所で外出できない人、学校
が忙しくて暇のない児童生徒、
まだ生まれていない、転入して
いない将来の舞鶴市民たち。
彼らの要望を忖度しビジョン
を計画に示すのが行政の仕事。

1-3-① 日本(各都市)の図書館サービスの到達点とその指標

□一年間の貸出し120万冊、市民1人年間貸出し17冊の図書館時代を迎えて

日本の公共図書館は、1947年「教育基本法」による目的の明示、1950年「図書館法」による図書館奉仕の理念、1970年日本図書館協会刊『市民の図書館』による取り組むべき3つの活動の柱の提示を契機に発展を続けてきました。その図書館活動の3つの柱とは、

- ① 市民の求める図書(情報)を自由に気軽に貸し出すこと
- ② 児童の読書(情報)要求にこたえ、徹底して児童にサービスすべきこと
- ③ あらゆる人々に図書(情報)を貸し出し、図書館を市民の身近に置くために、
全城にサービス網をはりめぐらすこと

でした。その後に50余年をかけて、かつて一部の利用者のものでしかなかった図書館は、「いつでも、誰でも、どこに住んでいても、どんな資料(情報)でも、利用できる」という図書館を目指して、さまざまな要求に応え、役に立つ進化(深化)を続けています。その成果は、図書館統計の「年間貸出し冊数」や「登録率」「市民一人年間貸出し冊数」など定量評価や、図書館への信頼の証の「レファレンスの広さ深さ」など定性評価から読み取れます。他方、質と量の統計からは全国図書館の格差拡大も顕著に見えてきます。

□舞鶴市の図書館サービス(図書館政策)の目指す将来の指標を考えるために

ここで、舞鶴市図書館サービスの課題と目標を検討するにあたり、同規模人口の都市(6万人~10万人)の図書館439館を基にして、年間50万冊以上を貸出した43館を選出し統計比較表を作っています。またその中で、図書館政策を類推させる5つの指標ごとに、上位12館を整列させています。また、舞鶴市は市域が342km²と広く、全域へのサービスが難しい地勢であることから、類似する2市の統計を併記しています。

図書館施策の3要素は、資料と職員と施設と言わされてきました。それぞれに専門性と適正な施策投資が求められ、投資に対する施策効果(利用と受益者満足)が検証されます。供給が需要を掘り起こす、有効な施策の選択と集中(SDGs)を、先進事例の統計から学びたいと考えます。そこに、舞鶴市図書館サービスの「のびしろ」を確認するのです。

□5つの図書館サービス(図書館政策)の指標から考える

- ※舞鶴の当面目指す図書館政策指標を例示都市政策統計から、どう想像してゆくか?
- ・貸出密度: 市民一人年間貸出冊数。 現状(市内) 3.7冊→ 8冊/人年
 - ・職員体制: 奉仕対象人口/専任職員数5人。現状 15,950人→ 8,000人
 - ・資料費: 年間資料費/奉仕対象人口。 現状 158円→ 400円/人年
 - ・蔵書冊数: 総蔵書冊数/奉仕対象人口。 現状 3.4冊→ 5冊/人
 - ・施設面積: 総施設面積/人口100人。 現状 2.66m²→ 5m²/人
 - ・登録率: 市内登録者数/奉仕対象人口。 現状(町々集計より) 35%→ 50~70%

※左記の現状指標は令和2年度の
図書館年報を典拠とする。
人口: 79,743人
・年報の登録者数は分館分重複あり
・下表値は令和元年度全国統計値

順位 トップ12	貸出密度 奉仕人口1人当たり 年間貸出冊数 (冊)	職員体制 中央館専任職員1人当たり 奉仕対象人口 (千人)	資料費 奉仕人口1人当たり 年間資料費決算額 (円)	蔵書冊数 奉仕人口1人当たり 中央館の蔵書冊数 (冊)	施設面積 人口100人当たり 本館分館総床面積 (m ²)
1	守谷市/守谷中央 17.7	袖ヶ浦市/市立中央 5.33	白河市/ 756	袖ヶ浦市/市立中央 8.89	大村市/*県立と合築 12.21
2	大府市/おおぶの杜 17.3	白河市/市立 6.78	みよし市/ 733	田原市/市中央 7.16	袖ヶ浦市/ 10.64
3	笠間市/ 笠間 友部(同等2館) 16.4	南相馬市/市立中央 6.78	塩尻市/ 625	守谷市/守谷中央 6.38	田原市/ 9.53
4	稲城市/稲城市中央 12.8	笠間市/ 笠間 友部(同等2館) 7.60	守谷市/ 621	笠間市/ 笠間 友部(同等2館) 6.18	甲賀市/ 8.85
5	守山市/市立 12.1	みよし市/市立中央 7.63	守山市/ 586	塩尻市/市立 6.09	笠間市/ 7.93
6	三木市/立中央 11.7	君津市/市立中央 7.73	南相馬市/ 517	君津市/市立中央 5.98	東松山市/ 6.87
7	京田辺市/市立中央 11.3	阿南市/ 那賀川 8.22	大村市/ 507	南相馬市/市立中央 4.61	日進市/ 6.70
8	みよし市/市立中央 10.8	田原市/市中央 9.00	神栖市/ 495	白河市/市立 4.57	白河市/ 6.59
9	福津市/福津市立 10.8	大村市/市立 9.60	笠間市/ 482	守山市/市立 4.35	福津市/ 6.28
10	白河市/市立 10.7	守谷市/守谷中央 9.71	安曇野市/ 455	多賀城市/市立 4.29	南相馬市/ 6.27
11	多賀城市/市立 10.0	東松山市/市立 10.00	田原市/ 450	大府市/おおぶの杜 4.23	みよし市/ 6.24
12	日進市/市立 9.9	栗東市/市立 10.00	袖ヶ浦市/ 439	みよし市/市立中央 4.20	近江八幡市/ 6.23
広域な 市勢が 類似の 図書館	君津市/市立中央 7.5	君津市/市立中央 7.43	君津市/ 313	君津市/市立中央 5.98	君津市/ 市域 319km ² 5.76
	南相馬市/市立中央 6.0	(被災地) 南相馬市/市立中央 6.78	南相馬市/ 517	(被災地) 南相馬市/市立中央 4.61	南相馬市/ 市域 399km ² 6.27
	福知山市/市立中央 7.5	福知山市/市立中央 11.14	福知山市/ 297	福知山市/市立中央 2.95	福知山市/ 市域 552km ² 3.95
舞鶴市	東館 西館(同等2館) 3.7	舞鶴市 東館 西館(同等2館) 20.75	舞鶴市/ 83	舞鶴市 東館 西館(同等2館) 2.84	舞鶴市/ 市域 342km ² 2.55

出典: 年報「日本の図書館-統計と年報 2020」(人口6~10万人自治体図書館) 日本国書館協会

◆ 舞鶴市図書館と類縁機関の施設的課題

□ふたつの同規模の中心館、東館と西館の課題とは：

- 開館30年、床面積約1000m²、同規模資料世界を持つふたつの中心館は同様な課題を抱える。
- 9万冊程で収容限界を迎えた、利用席スペースも狭い開架室。
 - 4万冊程収蔵で満杯。集密書架導入に床強度不足の閉架書庫。
 - 開架資料の配架や書庫資料整理の統合が出来ない二館体制。
 - 図書館員の配置ローテーションや連携が難しく、非効率な現二館体制。
(アトリーチサービスや夜間開館の人員配置増や人件費増大への方策が難しい)
 - 全市域サービス展開へのBM書庫や車庫が増築できない裏方。
 - 防水、水回り改修、など施設維持改修は時期が同時で費用が二倍。
 - フロンガス空調設備交換は天井内装の解体復旧を伴う大工事となり、工事休館や工費捻出が近い将来に同時に想定されているが、投資に対する上記図書館機能サービスの改善効果が期待できない。

☆ 目指す方向性は、

- 舞鶴市全域につながる〈図書館システム(中央館 + 分館群 + BM + サービス拠点群)〉の再編
- 舞鶴市全域サービスを動かす中枢運営施設〈センターとしての中央図書館〉の整備
- 専門性が深く、広い情報世界を表出できる〈地域生活に役立つ中央図書館〉の創出
- ☆ 現東館西館の全市図書館システムにおける将来的あり方について、計画編で総合的に協議します。

- ・現状施設維持に係る課題。
- ・中央図書館への機能発展に係る課題。
- ・改修費用投資に係る課題。
- ・中央図書館への投資効果に係る課題。

□公民館図書室のような3分館の課題とは： <2C + 3B> → <1C + 5~6B + BM>

（C:センター中心、B:ブランチ分館、

- 図書館分館(南公民館・中公民館・加佐公民館)名称だが、旧来の公民館図書室機能であり、近隣在住の固定的利用者に利用されている。運営に専門性蓄積や中央館連携や機能分担がなく、孤立無援的な苦境と展望が見えるが、全域奉仕の重要な拠点であり改善が望まれる。BMアトリーチサービスと連携する地域奉仕拠点として以下の課題への解決方策が必要になろう。
- 資料：情報目録共通化、ICT連携、配架構成、資料入替え。(動かない本が並んで)
 - 職員：兼務辞令、専門的研修、中央館職務連携、職員組織化。(利用者要求に個人対応)
 - 施設：客層と要求を知るセンタードラマ店舗商売のしつらえと居心地を(狭い店で孤立無援で)
- 図書館施設網の再編では、中央館は利用頻度の低い資料の収容と新鮮資料の供給を担う。「地域固定拠点・分館」は「子ども資料・読み物・居場所・情報端末」など特化の研究を。

□類縁施設としての公民館図書室の課題とは： 全市図書館システム連携策も考えたい。

- 分館としては位置づけられていない公民館図書室(大浦会館・城南会館・まなびあむ)は近隣在住の長年の固定的利用者に利用されている。が、全国公民館図書室の先例のように、限定的な室規模や資料費規模や運営体制のためサービスの質と量に経年成長が起こらない。その魅力と利用者階層や利用数の増大が図られない体制的課題を、将来に渡り抱えている。
- 地域生活支援拠点としての図書分館でない。(センターから資料供給やネットワーク運営がない)
 - 中央図書館との役割分担、限定的開架室での効果的資料表現が弱い。(つながらない)
 - 魅力が低い(情報ツールがない、本が古く少なく貸さない、居心地が悪い、職員に頼れない)
- 図書館施設網の再編にともない「図書館サービスの地域拠点」と位置づけられた図書室は、分館化やネットワーク化研究を。多機能が集約する「あそびあむ」界隈も可能性がある。

□連携が模索される小中学校図書館の課題とは：

- 少ない資料環境や司書教諭ご担当の繁忙な現状ではあるが、朝読書の普及や学級文庫による読書環境の担保もあり、市民ボランティアや公共図書館の出張奉仕が25校学校図書館の支えとなっている。が、教育を支える効用や情報センター図書館への成長/展望は見えない。課題は、文科省が長年進める「学校図書館整備等5ヵ年計画」理念との乖離にある。
- 学校図書館図書標準にもある「毎年の充分な図書資料費の補填」(補助金の活用)
 - 学校図書館の「情報センター」としての資料構築と、利用リテラシー教育(スキル習得)
 - 教師と学校図書館を支える「学校司書」の配置。(授業や公共図書館との連携コーディネイト)
 - 学校図書館の投資効果を自己検証する統計分析と研究。(先進事例の教研連携型研究)
- 学校教育センターの学校図書館成長政策と、公共図書館基本計画での連携支援策の研究を。

※フロン2020年問題と東館・西館施設大改修工費の発生

30年前導入の空調機冷媒フロン22は条約で世界的に生産が中止され、代替フロンR410に転換が進みます。地球環境問題への施設対応ですが、この時、天井内の室内機や室外機や配管の全交換が必要で大工事費となります。当面は移行の過渡期で、R22残材での補充や、交換部品が無い旧内外機器の修繕でしのいでいますが、2026年付近が限度で、将来的施設対応対策が喫緊です。

※建築30年東西館施設維持改修

建築施設を長く使い続けるために、定期的維持改修工事費が必要です。屋上屋根防水、鉄部や外壁メンテ、給排水配管トイレ改修、断熱性能向上やLED照明省エネ化も必要です。両館維持に大経費が予測されます。

※BMアトリーチサービス

自動車図書館(とくしま販売のように)による郊外地域や学校幼稚園などへの出張巡回サービス。

※「第2期舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和2年」

<いつまでも学び活動を続けることができるまちづくり> 27頁には

○多様な学びと交流の提供

・住民1人ひとりが孤立することなく、地域社会を構成していくよう、社会的包摶に寄与する学びを提供します。

・公民館は地域の拠点施設として、幅広い世代の住民が集い交流する場を提供することで、地域の活性化と、地域課題への多世代連携による対応力を強化を図ります。

○本を通じての学びや

地域及び生活課題の解決支援
・読書会などの学びの場を設けるとともに、地域や市民生活の課題解決に役立つ情報を提供できるよう図書資料の充実を図ります。

※「舞鶴市教育振興大綱平成31年」

<舞鶴市総合計画>と<国の教育振興基本計画>にもとづく教育行政の基本方針 5頁と4頁には

○学校公共図書館連携につながる、

4. 地域社会で支える教育と
子育て支援の充実
(1)家庭・地域との連携による～
(2)社会教育団体等との連携～

○学校図書館充実につながる、

2. 子どもを育てる教育環境の充実
(2)情報活用能力の育成をはじめ、
教育の情報化を推進するための基盤となるICT(情報通信技術)
環境の整備促進や～
教育環境の充実を図ります。

など、このたびの図書館基本計画の上位計画としての方針がある。